

# 松禪寺報

石室山 松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第 78 号

<http://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 平成 30 年 4 月 25 日



古寺春日

人行寂寞暮景閑

観音菩薩相對間

古寺烏啼春日晩

朧朧花月映郷山

人行寂寞 暮景閑なり

観音菩薩 相對して間ならん

古寺に烏啼いて 春日晩れ

朧朧たる花月 郷山に映ず

人の行き来は少なく寂  
しい夕暮れ、観音菩薩  
に相對すと心落ち着  
く。

古寺に烏啼いて春のの  
どかな日も夜を迎え、  
花を照らす月もぼんや  
りと郷山に映ずる。

# お寺で過ごす彼岸中日のひとつとき

## 雨のなか彼岸法要と法話の会に35人参拝

気温も低く雨降る彼岸中日の3月21日、お寺では彼岸法要と妙心寺派布教師さんによる法話の会を催しました。足元の悪い中にもかかわらず、35人の参拝がありました。



▲布教師・坂本宗耕師の法話に聴き入る皆さん＝3月21日、松禪寺

午前10時より布教師さんを導師に彼岸法要を勤め、その後、法話の会と進めてまいりました。今年お出で頂いた布教師さんは、和歌山県西牟婁郡白浜町の大圓寺ご住職、坂本宗耕師です。テーマは、主題「おかげさまの心」、副題「いつでもどこでも仏さま：随处作主（随处に主となる）です。どのような立場、環境におかれても主体的に自らが動くことを、師の体験も交えながら説いていかれました。若々しく丁寧な法話に、皆さん時には頷きながら聴き入っておられました。

彼岸法要と法話を終えれば、彼岸のお斎を皆さん一緒にいただきます。布教師さんは和田山町で午後の開教があるため、控室で早めに召し上がっていただきました。当番さんが一生懸命に調理してくださった料理と、今回も岡畑さんがつくってくくださったばた餅が弁当箱に詰められています。美味しくいただきました。感謝。食事後は、和尚から今年の主な事業

について報告とお願いをしました。特に今年は本山団体参拝があるので、多くの参加をお願いしました。また、数珠の持ち方などについてお話をさせていただきました。お寺で過ごす彼岸中日は寒い雨模様でしたが、皆さんのお顔は温かい笑みがこぼれていました。



## 5月20日＝境内掃除のお願い

一昨年に引き続き、境内掃除のご協力をお願いいたします。その第1回目を次のとおり行います。

日時 5月20日(日) 午前8時より約2時間  
作業内容 境内周辺、霊園及び駐車場周辺の草刈り、境内の草取り等  
持参 刈払機、松葉かきなど  
参加対象 上山根、下山根、貝田、平田、中路、宮本、榎谷のそれぞれの評議員と協力者1名を加えた計2名のご協力をお願いいたします。



# 先住 瑞峰和尚 17 回忌を僧侶 23 人が出頭して厳修

4 月 13 日、快晴に恵まれて先住の英州峰和尚 17 回忌（慈明忌）を、京都花園は妙心僧堂の師家（修行者の指導の任にあたる人）である岫雲軒・雪丸令敏老大師の御導師のもと、法類寺院、山陰東教区寺院、縁故親せき寺院のご尊宿など、総勢 23 人の僧侶のご出頭をいただいて厳修いたしました。

この法要執行にあたり、松禪寺護持会を通して檀信徒皆様のご協力をいただき、お陰様を



もちまして無事円成と相成りました。これも仏天のご加護と多くの皆さまのご縁による賜と、厚く御礼申し上げます。心より感謝申し上げます。

合掌



（上）瑞峰和尚の遺徳をしのぶ法語を唱えられる老大師。（右）お経を唱えながら堂内を歩く「行道」。（左下）供物を献じて挨拶の三拝をされる老大師。（右下）シルク温泉やまびこでのお齋で挨拶する住職。



## 和尚のつぶやき

## 謙虚になる努力を

電話や来所で持ち込まれる苦情や相談事には、その対象となる相手が必ずあります。自分が正しく間違っていないから、相手が非を認めないことに怒りがこみ上げてきます。自分の言動は、法律に定められたことだから間違っていないと言っても、揉めるときは揉めます。こう言えば相手は引き下がるしかない、といった万能の言葉はありません。

古典浄瑠璃の伝統芸能者で小説家でもある早瀬詠一郎さんが、『私なら、こうするだろうな』と、次のように書いておられます。

「二応、それぞれの立場になって考えてみます。判断は間違っているにいいのですが、肝心なのは、信じすぎないこと、どこの誰にも加担しないこと。誰かの味方になってしまふと、全体が見えなくなってしまうです。『人権のひろば』第120号、公益財団法人人権擁護協力会発行」。

ついつい自分の判断や価値観で肩入れしてしまうというのは、誰にもあることでしょう。しかし、相談を受ける、調停を試みる立場では、熱くならず双方共に味方しない、加担しない「一歩引いて前後左右を見まわすことが大切になります。」と早瀬さんは語ってお

られます。

これを阻む壁が、自分の思い込みや偏見です。

お釈迦様は、迷いや苦しみ、判断を誤る一番の根本は「我」であると説かれました。なかでも「我慢」があります。我慢は「辛いことを耐え忍ぶこと」として良い言葉ですが、一方では「自分を偉いと立てる慢心」という意味もあります。自分のほうが相手より優れ

ていると思うのが「慢心」「我慢」であり、これが判断を誤る一因なのです。

さらに、「卑慢」(相手のすばらしさを謙虚に認めない)、「邪慢」(自分には徳がないのに徳があると思ひ込んでいる)とお釈迦様は説いています。

謙虚になる、さて、どこまで実行できるのか、まずは心がけ、実行しようとするその心が大切です。

臨済宗妙心寺派山陰東教区

# 坐禅会

会費無料  
参加歓迎

坐る  
聴く  
心を洗う

《予告》第35回 坐禅会

日時 平成30年6月9日(土曜日)

13:30 ~ 17:00

平成30年6月10日(日曜日)

8:00 ~ 15:30

場所 青蓮寺(朝来市羽淵363)

参加申込みなど詳細は下記寺院までお問い合わせ下さい

《朝来市生野町》禪操寺 大明寺 少林寺 《朝来市》神照院 洞光寺 青蓮寺  
《朝来市和田山町》観音寺 慧林寺 正音寺 法泉寺 光福寺 瑞泉寺 徳林寺  
《朝来市山東町》國清寺 慈照寺 玉林寺 大同寺  
《養父市》寶積寺 圓通寺 《豊岡市》楊岐院  
《豊岡市城崎町》雲光寺 《豊岡市但東町》松禪寺  
《新温泉町》龍潜寺 《鳥取市》大隣寺 廣徳寺 地福寺 福聚寺  
《鳥取県・八頭町》能引寺

